

週間市場レポート (2020年11月30日~12月4日)

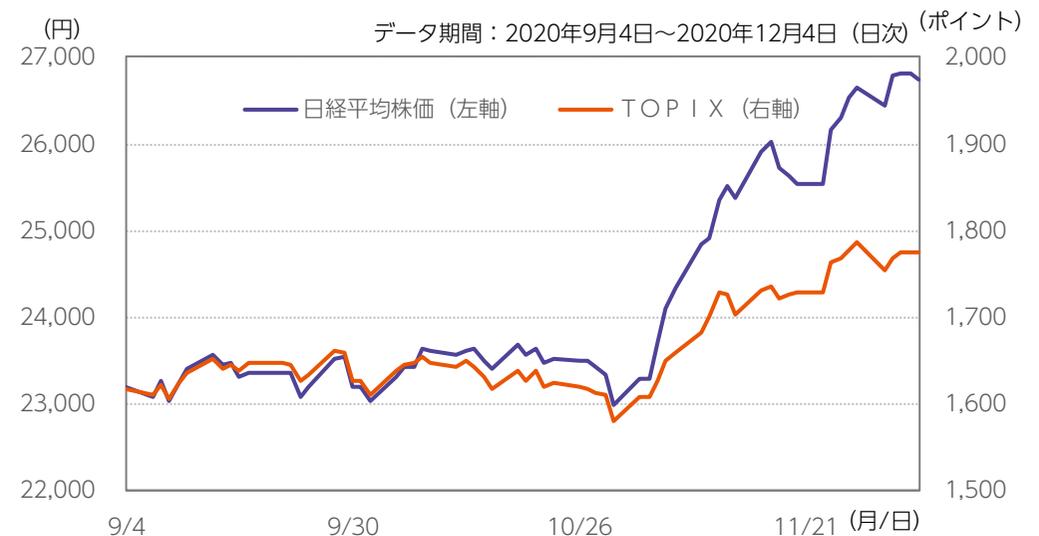
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/11/27	先週末 2020/12/4	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		26,644.71	26,751.24	0.40 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,786.52	1,775.94	▲0.59 ↘
ダウ工業株30種平均 (ドル)		29,910.37	30,218.26	1.03 ↗
S&P500種指数		3,638.35	3,699.12	1.67 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,527.79	3,539.27	0.33 ↗
S&P/ASX300指数		6,578.04	6,613.06	0.53 ↗
上海総合指数		3,408.31	3,444.58	1.06 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		977.72	983.17	0.56 ↗
東証REIT指数		1,697.38	1,700.17	0.16 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		708.56	719.80	1.59 ↗
ASX300 REIT 指数		1,460.90	1,462.30	0.10 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		574.80	586.24	1.99 ↗
日本10年国債 (%)		0.031	0.024	▲0.007 ↘
米国10年国債 (%)		0.837	0.966	0.129 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.588	▲0.547	0.041 ↗
英国10年国債 (%)		0.284	0.351	0.067 ↗
ドル/円		104.09	104.17	0.08 ↗
ユーロ/円		124.48	126.32	1.48 ↗
英ポンド/円		138.54	139.99	1.05 ↗
豪ドル/円		76.89	77.37	0.62 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,631.56	2,793.03	6.14 ↗
WTI原油先物 (ドル)		45.53	46.26	1.60 ↗
CRB 指数		160.97	159.89	▲0.67 ↘
アレリアンMLP指数		821.15	895.10	9.01 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。週初は、短期的な過熱感の高まりを警戒した利益確定売りが優勢となり、5営業日ぶりに下落となりました。その後は、新型コロナウイルスワクチンの早期普及期待から反発し、小幅ながら連日上昇したものの、週末には、米製薬大手が開発中のワクチンの年内供給量が当初計画から縮小されると伝わったことなどから下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

《 債券 》

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。
 新型コロナウイルスワクチンの早期普及期待が高まる一方、国内での感染再拡大による経済活動の再制限への警戒などから、国内債券は週を通じて売買が交錯しました。



3) 米国の株式市場

《 株式 》

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。
 相場が過去最高値圏にあることから週初は幅広い銘柄の利益確定売りが優勢となり下落しました。その後は、追加経済対策の協議に進展が見られたことや、ワクチンの早期普及期待を支えに小幅ながら週末まで上昇し、週末は史上最高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。
 米追加経済対策の進展やワクチン実用化期待から、投資家のリスク選好姿勢が強まり、流動性が高く、低金利の米ドルと円を売る動きが進みました。対ユーロでも、円売りユーロ買いが進行し、大幅に円安ユーロ高となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の米国株式市場は、ワクチンが実用化されることへの期待が高まったことや米追加経済対策の進展期待から、前週末比で上昇となりました。

米大手製薬会社が開発したワクチンが英国の医薬品・医療製品規制庁で承認されました。英国では今週より接種が可能となり、米国でも今週中に承認される見込みであることから、今後は先進国などを中心に接種が始まるとの期待が高まっています。調整が難航する米追加経済対策は、米民主党のペロシ下院議長と共和党上院トップのマコネル院内総務が協議を再開したことから、さらなる進展が期待されています。一方足元では、米国では新型コロナの入院者数や死者数が増加しており、複数の州で経済活動の制限が続いています。公表された経済指標からは雇用回復の鈍化が見られており、景気回復の遅れが懸念されます。

今週の株式市場は、短期間で高騰に対する高値警戒感などから利益確定売りに押されやや上値の重い場面も想定されるものの、引き続きワクチン普及による経済正常化への期待と追加経済対策の進展期待から上昇するものと見込みます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>